

第1回 人文知応援大会

コロナという災厄に 立ち向かう人文知



基調講演

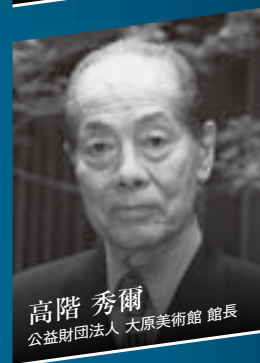
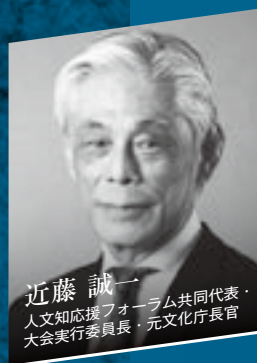
『ポピュリズムと
コロナ禍の社会の中で』

2021
2/27^土

時間 13:00-17:20

会場 一橋講堂

オンライン配信あり／要事前受付
(Zoom配信 / 定員300名)



大会趣旨

社会が新型コロナ禍という先の見えぬ大きな危機に直面しているとき、われわれは過去の歴史から学び、その流れの中に現在を位置付けることによって、未来を積極的に創造していくことができます。

その知的作業を導いてくれるのは、AIではなく、先達があらゆる学問や芸術、文学などに蓄積してくれた叡知です。そこから得られる、個々の専門分野を超えた、自然と人間についての総合知が人文知なのです。

それはひとりひとりが努力して探り出し、仲間と対話することによって獲得できるものです。この大会は、各分野を極めた知的リーダーが発する叡知から、参加される方々がさまざまなヒントを得て、人文知の意義と力についての認識を深め、広く社会に共有し、人文知を愛する同志の輪を広げていく場を提供することを目指しています。

人文知応援大会実行委員長 近藤 誠一（人文知応援フォーラム共同代表・元文化庁長官）

プログラム

総合司会：草野 満代

13:00

開会

- 挨拶・趣旨説明：大原 謙一郎（人文知応援フォーラム共同代表・大原美術館名誉館長）
- 挨拶：平川 南（人間文化研究機構長）

13:10-14:05

基調講演

- 司 会：高階 秀爾（大原美術館館長）

「ポピュリズムとコロナ禍の社会の中で」

佐々木 毅（日本学士院会員）

14:05-14:15

- 休 憩

14:15-15:50

第1部

- コロナ危機克服の諸課題を、人文知が読み解く

コーディネーター：榊原 定征（日本経済団体連合会名誉会長）

意見表明1 「コロナ危機と国際政治

～リベラルデモクラシーは普遍的価値たり得るか～

五百簾頭 眞（公立大学法人兵庫県立大学理事長）

意見表明2 「科学技術は新しい世界の

構築にどのように参画するか」

福岡 伸一（生物学者・青山学院大学教授・米国ロックフェラー大学客員研究者）

15:50-16:00

- 休 憩

16:00-17:10

第2部

- 人間文化研究の現場から

コーディネーター：長谷山 彰（慶應義塾長）

磯田 道史（人間文化研究機構国際日本文化研究センター准教授）

山中 由里子（人間文化研究機構国立民族学博物館教授）

17:10-17:20

閉会

- 挨拶：近藤 誠一（人文知応援大会実行委員長・人文知応援フォーラム共同代表・元文化庁長官）

「大会宣言」採択

ウェブサイト

<https://www.nihu.jp/ja/event/nihu/event/20210227>



お問合せ先

大学共同利用機関法人人間文化研究機構
本部事務局センター事務室情報発信係
TEL：03-6402-9234

オンライン
配信あり
※要事前受付

アクセス

一橋講堂

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター内

東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線 神保町駅（A8・A9 出口）徒歩 4 分
東京メトロ東西線 竹橋駅（1b 出口）徒歩 4 分

